

11月9～15日 秋の火災予防運動

今年の全国統一防火標語は「その火事を防ぐあなたに金メダル」です。全国的に放火(疑い含む)による火災が、出火原因の上位を占めています。家の周りや暗い場所、死角になる場所には燃えやすい物を置かない。またごみは夜に出さないなど放火されない環境づくりに地域全体で取り組みましょう。

●防火ポスター入選者決まる
市内小学生から41点の応募があり、66点が入選しました。特別賞受賞作品は来年の防火カレンダーとして市内各施設に掲示します。特別賞受賞者は次の通り(敬称略)。
▽市長賞 時山玲藍(摂陽小6年)▽伊丹防火安全協会賞 野口葵衣(鈴原小2年)▽教

育長賞 藤本樹(伊丹小5年)▽消防長賞 播野澤南(小4年)▽消防団長賞 東山和真(池尻小3年)▽たみまる賞 和田ころ(緑丘小1年)。
●防災ポスター展を開催 11月7～13日(13日は正午まで)、図書館「こは蔵」で。
市内在住・在学の小・中学生による防災ポスターの入選作品を展示します。

●住宅用火災警報器設置アンケートを実施しています 市消防局は、住宅用火災警報器設置の有無について、アンケート調査を行っています。
回答は、11月30日までに電子申請(下二次元コード)から読み取り可)で。
* 町市消防局予防課 783・0799。
* 第55回伊丹市展作品を募集 市と市教委、伊丹美術協会は、11月19～23日にスワンホールで開催する「第55回伊丹市展」に出展する作品を募集します。応募資格は15歳以上(中学生と伊丹美術協会会員と同等者などを除く)。他の公募展などで入賞・入選していない作品(1部門1点限り)を。



シリース 人権尊重のまち(1)② 感謝しています

傾聴ボランティアとして施設を訪問し、高齢者4人の話から感じたことを3回連載します。

高齢者施設へ入所する経緯はさまざまです。転倒などのけがで他の病院へ入院、手術、加療後に入所される人。自宅に一人で暮らしていたが、それができ

なくなった人などです。入所前もBさんは、介護のサポートを受けながら一人で暮らしていましたが、足腰が弱くなり入所しました。「リハビリを頑張って、一日も早く元の家に帰りたい」が口癖です。「自分で行きつけのスーパーに行き買い物をし、好きな料理を作りたい。近所の友達と話をしたい」と話します。買い物、料理、友達との会話は、ついこの間までごく日常的な生活の営みだったので、十分

理解できる希望です。このようにBさんは、今の生活より元の生活を望みますが、話を聞く人の中には、施設での生活に満足気持ちは表す人もいます。「息子がこの施設を探してくれて、大変感謝している」とCさんは話します。どこ施設でも同じでしょうが、Cさんの生活する施設はエアコン完備で快適な空間です。衛生にも気を配られ、栄養に配慮された食事も万全です。医療スタッフも配置されています。

このような生活を送れることに対して、感謝の気持ちを表しています。息子さん一家が定期的に訪問してくれるのが、大きな楽しみみです。今では想像もできませんが、多くの入所者は、戦中、戦後の貧しさ、ひもじさを体験しています。従って、その時期と比べて現在の恵まれた生活に、感謝の気持ちを持っています。「有り難い、感謝」の言葉は実感です。(人権教育指導員 鈴木隆一)

児童虐待防止推進月間 悩んだら相談を

11月は児童虐待防止推進月間です。児童虐待は身近に起こり得る問題です。少しでも気に掛かることがあれば、すぐに相談機関へ連絡を。「虐待かも?」と思ったらためらわず連絡を。▽子どもの体に不自然な傷やあざがある▽
【事前によらない子育てを】子どもへの体罰は法律で禁止されています。体罰などが繰り返されると、子どもの心身の成長・発達にさまざまな悪影響を及ぼします。
【一人で悩まず気軽に相談を】子育て中にはさまざまな悩みや不安が付きものです。

相談機関	電話番号
市子ども福祉課(家庭児童相談室)	☎780-3518 (平日9:00~17:30)
県川西子ども家庭センター	☎756-6633 (平日9:00~17:30)
児童虐待防止24時間ホットライン	☎759-7799
児童相談所全国共通3桁ダイヤル	☎189

市は、子育てに関する相談を受け付けています。相談では、相談者の気持ちに寄り添いながらそれぞれの子どもに合った育児と一緒に考えていきます。相談の秘密は守られますので、一人で悩まず気軽に右表の相談機関に相談してください。町市子ども福祉課 ☎780・3518。

●ぼい捨て追放キャンペーン 11月は市環境美化推進協議会が定めた「ぼい捨て追放キャンペーン月間」です。阪急・JR両伊丹駅周辺は「路上喫煙禁止区域」と「歩

出品料は1点1千600円(4月1日現在で18歳未満は500円)。各賞あり。部門は「洋画・日本画」「写真」「書」「デザイン・彫塑・工芸」の4部門。規格は中央公民館にある募集要項を確認を。
応募方法は11月1～10日に同館ホームページから電子申請を(同館にある出品申込書に必要事項を書いて、直接かファクス784・8001も可)。
作品搬入は、11月13日(午後8時まで)、14日(午後4時まで)に出品料(18歳未満は身分証明書)と作品を持って、スワンホール2・3階の搬入受付窓口へ。

●伊丹一句(19)の日 特選作品を発表 柿衛文庫は、「伊丹一句(19)の日」7～9月分の入賞作品を決定しました。7～9月の3カ月間に計1千975句の投稿があり、特選3句、入選57句が決定しました。各月の特選作品と作者は次の通り(敬称略)。
【7月分】「青嵐あらし富士額 だったのね」村上ヤチ代。
【8月分】「魔がさして本日 あたし貝割菜」村上栄子。
【9月分】「キラキラと十字架みたいオニヤンマ」芝希美。入賞作品は同館ホームページ

で発表。
●ひょうごまちなみガーデンシヨイン明石で受賞 9月27日に市内から次の皆さんが受賞されました(敬称略)。
【ガーデンコンペ・ひょうご写真部門(コミュニティ・職場)】▽県知事賞 寺本自治会 華の部(下写真)▽県議会議員賞 川柳ドレンスポット▽県園芸・公園協合理事長賞 ありじさいキラクラクラブ、共生ひろばチーム(ハンギングバスケット)▽(二社)フラワーズサイエター賞 中野真由美【単鉢コンテスト】▽緑の相談所賞 伊丹市田由紀子。

●第30回全国花のまちづくりコンクールで受賞 9月25日に市内から次の皆さんが受賞されました(敬称略)。
【花のまちづくり入選】▽寺本自治会 華の部、フラワリーきたばこ・ぼい捨て防止重点区域」に指定されています。美しく快適な伊丹のまちづくりに協力をお願いします。町市生活環境課 ☎781・5371。

●生活にお困りの人へ食料を提供 11月13日(金)午後5～7時、アイセンターで企業や市民が寄付したレトルト食品や菓子類などの食料を無償で提供します。対象は、▽ひとり親家庭▽失業や収入の減少などで生活に困っている人。定員50人。11月10日までに電話であかね食堂実行委員会 ☎090・1147・4400へ。先着順。

●食品ロスを減らす フードドライブ 市と登録ボランティアグループ「ストップ!!食品ロス(いたみ)」は、家庭で余っている食べ物を学校や職場などに持ち寄り寄付する活動「フードドライブ」を実施します。日時などは次の通り。
▽日時 11月10日(火)午前10時～午後3時▽受付場所 市役所3階の生活環境課前▽対象食品 賞味期限が来年1月11日以降の米、乾麺、缶詰、レトルト・インスタント食品、調味料、乳



11月5日(木)訓練放送 緊急地震速報

国は11月5日(木)午前10時ごろに「全国瞬時警報システム(Jアラート)」を通じた緊急地震速報の全国一斉情報伝達訓練を行います。同時刻に本市でも、▽市内28カ所に設置している屋外拡声器▽緊急告知FMラジオ(自動起動で大音量で放送)▽エフエムいたみ(79.4MHz)通常の音量で放送)——などから緊急地震速報の訓練放送を行います。当日午前9時45分ごろ、訓練放送の周知放送を行います(気象状況などにより中止する場合あり)。市危機管理室 ☎784-8166

募集 市バス 巡回モニター

市交通局は、市バス巡回モニター10人を次の通り募集します。
【応募資格】通勤・通学などで市バスを利用し、同局ホームページでやり取りができる人。
【任用期間】12月1日～来年度末まで。
【対象・定員】一般求職者及び市内外企業を中心とした12社の合同就職面接会です(事前予約制)。

新規大学等卒業予定者・既卒3年以内、各社15人程度。無料。11月26日午後5時までにハローワーク伊丹職業相談部門 ☎772・8616へ。先着順。